

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学大学院連合獣医学研究科応用獣医学連合講座 浅井鉄夫」までお願いします。

〔編集後記〕

年末に「豚流行性下痢（PED）防疫マニュアル」が手元に届いた。その中で、「馴致」という項目があり、内容としては発病豚の糞便や腸管内容物を使った「強制感染や人工感染」を指していて、「ウイルス量の急激な増大」「他農場への蔓延」「他疾病の拡大」などのリスクを認識して、獣医

師の管理や行政機関の関与なしに実施することを控えるように記載されている。

馴致は、SPF 豚の導入時に発生する疾病問題への対応として記憶している読者も多いことと思う。SPF 豚を導入した後で、SPF 豚と農場に在来する豚の病原体保有状況（衛生レベル）の違いから、導入豚で呼吸器病や下痢などが発生し、重篤なものは死亡事故につながった。それに対応するために、検疫豚舎などの隔離施設を利用して数週間～十数週間かけて徐々に農場の衛生レベルに近づけていく作業を「馴致」としていた。馴致は、英語で“acclimation”と記憶している。“acclimation”は、「馴致」以外に「順化、馴養、気候順化、馴化」という意味を持っている名詞である。PEDで行われる「馴致」は、やはり英語で“acclimation”なのか、別の言葉で表現されているのか興味がある。

（浅井）

「All about SWINE」

第46号

2015年2月発行 定価1,500円

発行者 小林 秀 樹

編集者 浅 井 鉄 夫

発行所 日本 S P F 豚 研 究 会

事務局 (株)伊藤忠飼料研究所

予防衛生チーム内

〒325-0103

栃木県那須塩原市青木919

Tel : 0287(64)3652

Fax : 0287(63)8384